

I. 2019年度事業活動骨子

1-1 JACE を取り巻く概況

2019年の日本経済は緩やかな回復が続いた。2018年に始まった世界経済の減速は、2019年を通じて日本経済の下押し要因となり、外需が弱い中で、内需が牽引する姿となっている。また、2019年10月には消費税率の10%への引上げも実施され、その後の経済動向に十分に注意する必要がある。

イベントを取り巻く業界に目を転じると、持続する緩やかな景気拡大に伴い、電通発表の2019年1月～12月の日本の広告費は6兆9,381億円（前年比101.9%）で8年連続のプラス成長となっている。媒体別では、インターネット広告費2兆1,048億円（前年比119.7%）が6年連続2桁成長でテレビメディア広告費を超え、初めて2兆円を突破した。また、今回より広告業が取り扱うイベント領域を拡張推定した「イベント・展示・映像ほか」（改訂項目）として5,677億円（前年比158.4%）と新たに発表された。この中で「イベント」は1,803億円であった。新元号制定に伴う祝賀イベントやG20、ローマ法王の来日などの国家イベントや複数会場での初のエリア開催となった東京モーターショー、アジアで初開催されたラグビーワールドカップ2019などイベントが活発な1年であった。

JACE自身の調査研究活動である「2019年イベント消費規模推計報告書」においてもイベントに対する様々な支出（出発前、交通費、宿泊費、会場外、イベント後）を含めた「イベントの全体消費規模金額」は17兆4,890億円（前年比100.8%）と8年連続で上回った。カテゴリー別としては、消費規模の大きい順に、興行イベント6兆1,156億円、フェスティバル2兆7,060億円、スポーツイベント2兆4,339億円、文化イベント2兆3,845億円、会議イベント2兆2,329億円、見本市・展示会1兆0,672億円、販促イベント5,358億円、博覧会131億円の順となっている。昨年よりも大幅に増えたカテゴリーは、スポーツイベントの前年比149.1%であり、2012年度の調査開始から2016年度の2兆8,468億円に次ぐ高い数値となった。調査対象者が回答しているイベント名でもラグビーワールドカップ2019などの2019年度の特徴的なイベントばかりでなく、市民マラソンなどの自己参加型やプロスポーツチームのファン感謝デーなどエンターテインメント性の強いスポーツイベントが増えてきている。

また、「イベント会場内の消費規模金額」に関しても3兆3,623億円（前年比110.7%）と伸長した。これはイベントの会場内で十分にイベントを楽しもうとする生活者の行動の表れと見てとれる。

第6回を迎えた「JACE イベントアワード（後援：経済産業省）」のエントリー作品にも、企業が社会課題解決にチャレンジするイベントやe-SPORTなどイベントの新たな潮流、地域のイン

フラを活用し地域振興を目指すイベントなど拡がりが見えてきている。

一方、2020年1月7日の中国政府による新型コロナウイルスの発表、3月10日の日本政府による新型コロナウイルス感染拡大を歴史的緊急事態に指定などにより、3月24日の2020東京オリンピック・パラリンピックの延期発表などイベントの中止や延期の決定が相次いでいます。

JACEはこのような環境下であるからこそ、今一度、イベントの持つ魅力・価値・将来性などを再点検することが重要と考えます。また、アフターコロナ以降のイベントのあり方を模索していくと共に、イベントならではの「人が集まる」という臨場感、同時性というという特長、その結果「人の心を動かす」というエモーショナルな価値を提供する手法という原点を捉え直して、日本イベント産業振興協会は今後も活動を行います。

当年度の収支の概要は以下のとおりである。

- 経常収益の合計は 65,532 千円となり、対前年 1,807 千円の増となった。
- 経常費用の合計は 65,027 千円となり、対前年 1,705 千円の増となった。
- これにより 2019 年度の税引き前当期経常増減額は 505 千円の収支黒字となり、税引き後の正味財産の期末残高は 34,533 千円となった。

1-2 2019 年度協会主要な事業活動

2019 年度の協会事業活動に関して以下の項目にて、2019 年 6 月の第 11 回定時総会にて主要活動として以下の項目を活動内容として報告した。

1-2-1 事業方針

当協会の 2019 年度事業方針を以下の通り定め、具体的な施策は以降に述べる。

- (1) 多種多様な広がりを見せるイベント業界の産業の進むべき方向を見定める
- (2) イベント産業の人材の獲得、育成
- (3) イベントのコンプライアンスの確保
- (4) JACE の情報発信力の強化
- (5) JACE の組織強化

1-2-2 協会の現状

当協会は、イベントビジネスに携わる様々な業種の企業を正会員としている。あわせてイベント

の各ステージにかかわるプロフェッショナル人材の育成では、イベント業務管理士資格制度を持って取り組んでおり、受験者は増加傾向にある。協会として創立 30 周年を迎えた本年度は、さらなる健全経営を念頭に置き、会費等収入、資格事業をコアとしながら、新たな事業計画を掲げるステージに入ったと理解している。①資格検定事業：イベント業務管理士 1 級 2 級、イベント/スポーツイベント/ユニバーサルイベント 3 検定の受験資格者を増やすために試験会場の地域拡大を検討する資格事業：イベント業務管理士 1 級 2 級の受験資格者を増やすために試験会場の地域拡大を検討する。

1-2-3 会員事業及び協会運営

従来元請けからはじまるビジネス商流に加え、イベントを新たな事業フィールドとして捉える「業界を取り巻くポジティブな環境」が続くことを前提に、新たな会員の獲得を目指す。この数年、新たな会員は新たな資格取得による資格者増に結びつく傾向が高いため、正会員と賛助会員の入会促進は最重要である。

① 会員事業

現在 62 社の正会員企業を中期計画目標 70 社へ増やす。そのためには、後述の調査研究事業、セミナー等を中心とした普及啓発事業を積極的に展開する。また従来からのイベント関連団体のみならず、広告関連団体など諸団体との連携を進めることで協会の認知を拡大し、会員獲得のプロスペクトを増やしていく。正会員企業を中期計画目標 70 社へ増やす。また、大学、専門学校における学生獲得競争が進む中で、イベント 3 検定の資格取得を推進していくメリットをアピールすることで賛助会員を増やす。

② 協会運営

昨年度に引き続き、正会員の参画による委員会と部会の活動を積極的に展開する。

③ 事務局運営

今年度も正会員企業からの出向者を中心とした運営体制を継続する。

1-2-4 人材育成事業

イベント業務管理士、イベント検定ともに受験者は伸びつつあるが、ゴールデン・スポーツイヤーと 2025 年大阪・関西万博に向って想定される変化を踏まえた対応を行う。特に受験者（および資格保有者）の増大を目指して、受験会場を全国展開する。また、「イベント業務管理士 公式テキスト 1 級・2 級共通」のリニューアルをアピールしながら、イベント業務管理士協会（JEDIS）との連携を一層強化する。

① 資格事業（イベント業務管理士1・2級）

イベント業務管理士2級試験を年2回（7月、11月）実施する。7月の試験は、東京・大阪の2会場、11月は、東京・大阪の2会場に加えて、札幌・新潟・名古屋・福岡の実施に新たに仙台を加え計7会場とすることで、イベント業務管理士1級の受験資格者増加を図る。2020年2月のイベント業務管理士1級試験に関しては、東京、大阪、札幌の3会場で実施する。

② 検定事業（イベント、スポーツイベント、ユニバーサルイベント）

受験機会の充実を図るため、東京・大阪は年2回（7月、11月）、札幌・新潟・名古屋・福岡の実施に新たに仙台を加え、年1回（11月）の全国7会場で試験を実施する。

1-2-5 調査研究事業

2016年秋～2018年春に実施した「イベント未来創造プロジェクト」の検討成果を踏まえ、従来からの「イベント消費規模推計」に加えて「イベント産業規模推計」を開始する。

① イベント消費規模推計

2012年度に再スタートさせた来場者消費調査の報告書（イベント消費規模推計報告書）は、生活者のイベント消費金額に加えて、近年の様々なイベント参加への拡がりが見いだせるようになっているため、今期も継続して調査を実施する。

② イベント産業規模推計

イベント産業市場規模算定の基礎となる「日本の広告費」（2019年2月）において、広告業からみたイベント関連広告市場：3,148億円を算出。これをもとに、主要イベント関連企業へのヒアリングや経済産業省の「特定サービス産業実態調査」等を積み上げ方式から算出した「イベント産業規模推計」を2019年6月発表予定。

1-2-6 普及啓発事業

① JACE イベントアワード

5年目を迎えたJACE イベントアワードは、6月12日に表彰式を実施する。創立30周年に当たるアワードということもあり、経済産業省との連携を深めながら、より発信力のあるコンテンツとして昇華させていく。

- ② 会員企業&イベント業務管理士を対象としたセミナー、説明会
セミナー部会でセミナー企画を立案するとともに仕組み作りを確立する。
- ③ 交流
協会のプレゼンス向上や資格受験者層の領域拡大および会員増強に資するよう、経済産業省、JETRO、イベント関連団体等との連携を一層強化するとともに、広告関連団体や各種関係団体等との交流を拡大促進する。
- ④ 広報
協会ホームページや電子メール、プレスリリースによる適宜の情報発信を維持しつつ、広報委員会による企画の施行と効果検証を行う。

II. 2019年度 事業活動報告

2-1 主な協会活動

2-1-1 総会

総会は、以下のとおり開催し、いずれの議案も異議なく承認した。

●第11回定時総会

日時 2019年6月12日(水)午後3時~4時40分

場所 ホテル雅叙園東京 2階 華つどいの間

正会員総数60名のうち出席正会員数45名(その内 理事21名、監事1名)

【議題及び報告事項】

議題1. 2018年度事業報告の件

議題2. 2018年度決算報告書承認の件 <第1号議案>

議題3. 理事選任(案)承認の件 <第2号議案>

議題4. 2019年度事業計画及び収支予算報告の件

2-1-2 理事会

理事会の活性化と審議の深耕のため毎回7割超の理事ご本人の出席を得て開催のうえ業務執行理事より詳細な業務報告および議案の審議等を行った。

●第30回理事会

日時 2019年5月21日(月)16:00~16:45

場所 東京グリーンパレス地下1階 さくらの間

理事総数 24 名のうち理事出席 20 名、監事出席 2 名

【 議題 及び 報告事項 】

議題 1. 2018 年度 決算諸表 承認の件 <第 1 号議案>

議題 2. 2019 年度 事業計画収支予算(案) 承認の件 <第 2 号議案>

議題 3. 2019 年度「第 11 回定時総会」開催 承認の件 <第 3 号議案>

●第 31 回理事会

日 時 2019 年 6 月 12 日 (水) 14:45~17:00

場 所 ホテル雅叙園東京 2 階 華つどいの間

理事総数 24 名のうち理事出席 23 名、監事出席 2 名

【 議題 及び 報告事項 】

議題 1. 代表理事並びに役職理事等選定の件 <第 1 号議案>

●第 32 回理事会

日 時 2019 年 10 月 29 日 (火) 16:00~17:00

場 所 東京グリーンパレス地下 1 階 さくらの間

理事総数 24 名のうち理事出席 18 名、監事出席 2 名

【 議題 及び 報告事項 】

議題 1. 会員入会 承認の件 <第 1 号議案>

議題 2. 職務執行状況の報告

① 協会運営について

② GSYs&EXPO 部会の活動について

③ 安全委員会の活動について

④ 人材育成事業について

⑤ 資格検定事業について

⑥ 普及啓発事業について

⑦ 調査研究事業について

⑧ 広報活動について

⑨ セキュリティーの検証と JACE ホームページのリニューアル

●第 33 回理事会

日 時 2020 年 1 月 21 日 (火) 14:00~14:45

場 所 ホテルグランドアーク半蔵門 3 階 トパーズの間

理事総数 24 名のうち理事出席 21 名、監事出席 1 名

【 議題 及び 報告事項 】

議題 1. 会員入会 承認の件 <<第 1 号議案>>

議題 2. 職務執行状況の報告

- ① 協会運営について
- ② 人材育成事業について
- ③ 資格検定事業について
- ④ 調査研究事業について
- ⑤ 広報活動について
- ⑥ 普及啓発活動について
- ⑦ セキュリティーの検証と JACE ホームページのリニューアル

2-2 会員事業及び協会運営

2-2-1 会員事業

正会員 63 社 (1 社減)、賛助会員 20 法人 (1 法人増) と計 83 法人と増減ナシ。
(正会員新規 3 社 (株) サピエント、ベクセス (株)、レプラスデザイン (株)、
賛助会員新規 1 法人 三幸学園)

※2020 年 4 月 1 日現在

2-2-2 協会運営 (正会員社の参画による委員会活動)

① 総務委員会 委員長 若松正人 (丹青社)

協会の運営を円滑に進行する実施機関として総務委員会を理事会の直前に 3 回開催した。

●第 1 回 2019 年 5 月 14 日【 議題 及び 報告事項 】

- ・ 2019 年度総務委員会メンバーに関して
- ・ 2018 年度決算報告
- ・ 2019 年度事業計画(案)に関して
- ・ 2019 年度総務委員会活動方針案
- ・ 6 月 12 日定時総会、理事会、アワード表彰式、懇親会に関して
- ・ 今後の主なスケジュール

●第 2 回 2019 年 10 月 16 日【 議題 及び 報告事項 】

- ・ 協会運営について
- ・ ゴールドンスポーツへの取組と GSYs 部会
- ・ 普及啓発活動について
- ・ 調査研究事業について
- ・ セキュリティーの検証とホームページのリニューアル

- ・人材育成事業について
- ・資格検定事業について
- ・安全委員会活動について
- ・広報活動について

●第3回 2020年1月14日【議題及び報告事項】

- ・協会運営について
- ・人材育成事業について
- ・資格検定事業について
- ・普及啓発活動について
- ・調査研究事業について
- ・広報活動について
- ・セキュリティーの検証とホームページのリニューアル
- ・第33回理事会の議案について
- ・JACE 賀詞交歓会の構成
- ・今後の主なスケジュール
- ・JACE イベントアワード強化に向けたお願い
- ・サイトリニューアルプロジェクトの方向性

② 広報委員会 委員長 藤井慶太（博報堂）

前期の総括及び今期の J A C E の活動内容と全体スケジュールの確認を行った。

③ 人材育成委員会 委員長 間藤芳樹（マッシュ）

以下の主な項目に置いて年8回開催した。

- ・2019年度試験運営/試験問題/採点/可否
- ・試験対策セミナー検討
- ・イベント業務管理士1級・2級の合格者向けコンテンツ
- ・認定校内試験運営
- ・受験者増にむけた施策検討（会員や賛助会員からの協力呼びかけ、広報活動、受験料見直しなど）

④ 安全委員会 委員長 藤中隆一（乃村工藝社）

- ・第1回委員会では、2018年度の経過報告及び活動内容の中期スコープを共有した。
- ・第2回委員会以降では、「(一財)気象業務支援センター内熱中症」

対策委員会の活動報告<活動内容：後述>及び「安全」に関する情報の提供の手法を今後検討していく事を確認した。

随時、メールにて進捗状況を展開した。

⑤ GSYs&EXPO 部会

- ・第1回/部会の目的とゴールイメージの確認

「イベント・MICE等の最新テクノロジー活用事例」の紹介

「2025年大阪万博」の今後の展開・情報共有

- ・第2回/各委員から各社最新テクノロジー事例ご紹介

スポーツイベントのボランティア取組み事例等

随時、メールにて進捗状況を展開した。

⑥ 市場調査部会<消費>部会長 河上和寛（博報堂）

2018年度報告書の継続性を確保しながら、調査項目・手順の見直しを行い、2019年度調査に関しては、12月調査内容決定、2020年1月実査6月報告書完成、リリース発表予定。

⑦ 市場調査部会<産業>部会長 宮口真（電通ライブ）

2019年12月19日に、イベントを主業としている7業種の産業規模 5,610億円に加えてイベントを売り上げの一部としている業種・業態=イベント関連産業3,322億円、音楽コンサート、スポーツ興業など広義のイベント 13,946億円を加えて「イベント周辺産業規模は、22,878億円」とニュースリリースを発表した。

この作業の延長線上に、2020年3月リリースの2019年「日本の広告費」における「イベント」項目新設があり、従来の「展示・映像ほか」推計値に代わる「イベント・展示・映像ほか」のイベント広告費5,677億円が初めて発表された。

⑧ セミナー・研修ツアー部会 部会長 若松正人（丹青社）

以下の項目の検討を行った

- ・「中国北京国際園芸博覧会視察」（9/11-13）の募集
- ・安全委員会と連携した「熱中症対策セミナー」の企画
- ・GSYs&EXPO部会等と連携したRWC2019関連の企画

⑨ アワード部会 部会長 石阪太郎（電通ライブ）

2019年6月の第5回イベントアワード表彰式終了後、第6回イベントアワード開催に向けて以下の内容の検討を行った。

- ・開催概要検討と応募促進施策検討
- ・後援の経済産業省への提出書類作成
- ・告知資材作成、表彰式会場手配等

※アワードの実施報告に関しては2-4-1JACE イベントアワードに後述。

2-3 人材育成事業

2-3-1 資格事業 イベント業務管理士1級・2級

① イベント業務管理士1級試験

2020年2月15日に東京・大阪・札幌の3会場で実施した。受験者数は97人、合格者は68人(合格率70.1%)であった。今回は、イベント業務管理士公式テキスト改訂後の初の試験であった。前年2018年度が旧テキストでの最後の試験による駆け込み需要があったため今回の受験者数は30名程度の減少であったが、一昨年の105名と同じレベルであった。

② イベント業務管理士2級試験

前期試験は2019年7月6日に東京・大阪の2会場、後期試験は2019年11月16日に前期実施の東京・大阪の2会場に加えて、札幌・新潟・名古屋・福岡の実施に新たに仙台を加え計7会場で実施した。2回の受験者数は297人、合格者は241人(合格率81.1%)であった。イベント業務管理士公式テキスト改訂後初の試験で、前年より13名減少となったが、一昨年の265名を上回った。

③ イベント業務管理士1級・2級新規登録・資格更新

新規登録

2019年度の新規登録対象者は329名で、1級91名全員(更新率100%)、2級238名中231名(更新率97.1%)、合計322名(更新率97.8%)が登録手続きを行い、合計3,493,000円の収入があった。

資格更新

2019年度の資格更新対象者は866名で、1級704名中541名(更新率76.8%)、2級162名中98名(更新率60.5%)が更新手続きを行い、合計8,013,000円の収入があった。

※1級の登録・更新料は単価13,000円

2級の登録・更新料は単価10,000円

2-3-2 検定事業

イベント・スポーツイベント・ユニバーサルイベントの3検定は、イベント業務管理士2級試

験とダブル受験が出来るように、イベント業務管理士 2 級試験と同日(午前/検定、午後/イベント業務管理士 2 級)に実施した。前期試験は 2019 年 7 月 6 日に東京・大阪の 2 会場、後期試験は 2019 年 11 月 16 日に前期実施の東京・大阪の 2 会場に加えて、札幌・新潟・名古屋・福岡の実施に新たに仙台を加え計 7 会場で実施した。また、賛助校ではイベント・スポーツイベントの 2 検定でカリキュラム内での試験を実施した。

① イベント検定

2 回の会場試験と賛助校での試験で合計 466 名(会場 209 名、賛助校 257 名)が受験し、340 名(合格率 72.9%)が合格した。前年の 491 名から受験者は 20 名程度減少したが、一昨年の 431 名からは 35 名増加した。

② スポーツイベント検定

2 回の会場試験と賛助校での試験で合計 123 名(会場 54 名、賛助校 69 名)が受験し、100 名(合格率 81.3%)が合格した。前年の 115 名から受験者は 10 名程度増加したが、一昨年は賛助校内での受験が多数あったため 170 名からは 50 名近く減少した。また、スポーツイベント検定テキストは 2014 年 4 月の改訂から長期間継続利用されているため、2021 年度から新たに運用できるよう改訂に着手した。

③ ユニバーサルイベント検定

2 回の会場試験で 39 名が受験し、38 名(合格率 97.4%)が合格した。前年の 36 名から受験者は若干増加した。受験者に対する合格率の高さは、ユニバーサルイベント受験者の意識の高さが表れており、一層の広報強化を行っていく事が課題である。

2-3-3 教育(セミナー)事業

2019 年度は、イベント業務管理士 1 級試験対策セミナーは東京・大阪・札幌(各 1 回)の 3 会場で 67 名が受講した。

イベント業務管理士 2 級試験対策セミナーは東京・大阪(各 2 回)、札幌(1 回)の 3 会場で実施し、105 名が受講した。

3 検定のセミナーは、東京・大阪(各 2 回。大阪会場はイベント検定のみ)で 89 名が受講した。

受講料は、1 級、2 級が 25,000 円、会員 22,500 円、3 検定受講料 7,000 円、会員 6,300 円となっており、協会の事業収益に寄与している。

2-4 調査研究事業

2-4-1 イベント消費規模推計

2019年6月に、2018年イベント消費規模推計報告書において「イベントの全体消費規模金額」は17兆3,510億円（前年比104.2%）と7年連続で上回った事を発表した。2019年度に関しても前年と同一規模で調査実施し、2020年6月10日にリリース予定。

2-4-2 イベント産業規模推計

2019年12月19日に、イベントを主業としている7業種の産業規模5,610億円に加えてイベントを売り上げの一部としている業種・業態＝イベント関連産業3,322億円、音楽コンサート、スポーツ興業など広義のイベント13,946億円を加えて「イベント周辺産業規模は22,878億円」とニュースリリースを発表した。

2-5 普及啓発事業

2-5-1 JACE イベントアワード

2019年6月12日表彰式が行われた「第5回JACE イベントアワード」（後援：経済産業省）は、自薦81他薦90合計171作品の応募があり、＜最優秀賞・経済産業大臣賞（日本イベント大賞）は時空超越美術賞「MRミュージアムin京都」、イベント業務管理士が選ぶ＜イベントプロフェッショナル賞＞はこども共感賞「MOVE生きものになれる展」が受賞し、優秀賞は、6作品が受賞した。

「第6回JACE イベントアワード」は選考作品クオリティーの一層の向上を強化方針として決定し応募を開始した。2020年3月9日に応募が締め切られ、作品応募総数は146作品（自薦74作品、他薦72作品）であった。一次選考会及び最終選考会を経て、6月10日の発表に向けて審査進行中である。

2-5-2 会員企業&イベント業務管理士を対象としたセミナー説明会

2019年度は下記のセミナーを開催した。

■ <熱中症・台風・大雨>気象災害対策セミナー

12月5日（木） 14：00～15：30

会場：日比谷図書文化館 スタジオプラス（小ホール）

■ 広告関連団体連絡会「広告のミライプロジェクト」公開授業

12月13日 17：30～18：30

会場：東京都市大学横浜キャンパス

2-5-3 交流

① イベント関連団体

イベント学会

- 7月29日 中村利雄新会長就任の会
@霞が関ビル 東海大学校友会館
- 9月4日 台湾イベント発展協会交流会
@北青山 ニューオータニ TEPIA
- 11月8日 台日連携文化シンポジウム
@虎ノ門 台北駐日経済文化代表処
- 12月17日 イベント学会第22回研究大会 (JACE 共催)
@日本青年館ホテル 8階会議室
イベント業務管理士協会(JEDIS)
- 10月23日 第23回定時総会・懇親会
@半蔵門 JET STREAM
日本イベント協会 (JEVA)
- 6月19日 定時総会交流会
@お茶の水 ワテラスコモンホール
- 1月30日 新年賀詞交歓会
@神田 平沢ビル6階ウェルネスルーム
ディスプレイ業団体連合会
- 11月1日 ディ스플레이産業賞
@永田町 全国市町村会館
東京ディスプレイ協同組合
- 1月22日 創立55周年記念感謝贈呈式・新年賀詞交歓会
@東京ドームホテル

展示会関連団体連絡会

(経産省、JETRO、日展協、日本電機工業会・展博委員会)

- 2019年4月12日 連絡会 @JEMA
- 2019年6月14日 連絡会 @JEMA
- 2019年8月23日 連絡会 @JETRO
- 2019年11月1日 連絡会及び万博講演会 @大阪 (中央電機倶楽部)
- 2019年12月13日 連絡会 @JEMA
- 2019年2月21日 連絡会 @JEMA

② 行政等

2019年度は、下記の団体等と交流し連携強化拡大を図った。

- 経済産業省「2020年ドバイ万博」イベント広場利用に関する意見交換
- 日本政府観光局（JNTO）国際MICEエキスポ（IME2020）出席
- （公財）東京観光財団「東京都MICE連携推進協議会」に参画
「MICEシンポジウム@江戸東京博物館」に出席
- 環境省「夏季イベントにおける熱中症対策等検討委員会」に参画
- ケベック州<THIS is Quebec.>オープニングイベントに出席
- 愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）オープニングイベント
「AICHI IMPACT2019」に出席
- （賛助会員）学校法人国際総合学園アップルスポーツカレッジでの特別講義
- （株）MICE研究所主催 BACK STAGE にブース出展

③ 広告関連団体

- 2019年4月8日 連絡会 @電通銀座ビル 8F 会議室
- 2019年6月24日 連絡会 @電通銀座ビル 8F 会議室
- 2019年9月24日 連絡会 @電通銀座ビル 8F 会議室
- 2019年12月16日 連絡会 @電通銀座ビル 8F 会議室
- 2020年1月8日 令和2年広告界合同年賀会 @帝国ホテル本館2階「孔雀の間」
- 2020年2月7日 連絡会 @電通銀座ビル

④ その他（賀詞交歓会等）

例年通り、6月12日にホテル雅叙園東京にて定時総会後の懇親パーティーをJACE イベントアワードの受賞パーティーと合わせ実施し、1月21日に賀詞交歓会をホテルグランドアーク半蔵門にて実施した。両会とも経済産業省はじめ関係団体幹部各位の参加も得て盛大に会員相互の交流を促進した。また、7月5日にゴルフコンペをロッテ皆吉台カントリークラブにて開催し会員社内の懇親を深めた。

2-5-4 広報

① 協会HP・メールマガジンによる情報発信

2019年度は、タイムリーにオウンドメディアである協会HPにて「What's New」情報公開をするとともに、「JACE-メルマガ」にて会員企業及び資格者2,800名以上の登録者に向けダイレクト発信した。

JACEメルマガ（4/03）改元に伴う情報誌システム改修等について

JACEメルマガ（4/10）2020ドバイ万博進捗説明会・交流会のご案内

- JACE メールマガジン (4/10) 日本イベント業務管理士協会(JEDIS)主催 イベントのご案内
- What's New(4/11) ゴールデンウィーク休業のお知らせ
- JACE メールマガジン (4/16) 国家公務員経験者への求人サービスの開始について
- What's New(4/17) 「第5回 JACE イベントアワード」一次選考通過作品を発表!
- JACE メールマガジン (4/25) 消防庁・危険物安全週間資料の展開
- JACE メールマガジン (5/07) 消防庁・危険物安全週間実施について
- JACE メールマガジン (5/07) 行政イベント「地方創生ワカモノ会合」のご案内
- What's New(5/10) 「第5回 JACE イベントアワード」優秀賞(部門賞)発表!
- JACE メールマガジン (5/21) 日本イベント業務管理士協会(JEDIS)主催 イベントの案内
- JACE メールマガジン (5/22) 東京消防庁「危険物安全週」について
- JACE メールマガジン (5/23) トランプ大統領来日に伴う警備協力について
- JACE メールマガジン (5/23) 東京消防庁・危険物貯蔵緩和について
- JACE メールマガジン (6/3) 夏季の省エネルギーの取り組みについて
- JACE メールマガジン (6/3) 「SDG's とコミュニケーション」セミナー
- JACE メールマガジン (6/11) 2020 ドバイ国際博覧会日本館公式ウェブサイト公開
- JACE メールマガジン (6/11) G20 大阪サミット開催に伴う交通対策協力について
- What's New(6/12) 第5回 JACE イベントアワード「最優秀賞経済産業大臣賞」
「イベントプロフェッショナル賞」が発表になりました!
- What's New(6/14) 「2018年国内イベント消費規模推計」発表。
イベント市場規模は17兆3,510億円(前年比104.2%)
- JACE メールマガジン (6/20) 日本イベント業務管理士協会(JEDIS)主催 イベントの案内
- JACE メールマガジン (6/28) 第5回 JACE イベントアワード・表彰式受賞パーティーの様子を
アップしました!
- What's New(7/01) イベント業務管理士2級・試験対策セミナー終了
- What's New(7/01) イベント業務管理士2級の受験票を発送しました
- What's New(7/01) JACE コーポレートサイト・メンテナンスのお知らせ
- JACE メールマガジン (6/25) 日本イベント業務管理士協会 (JEDIS) 主催 イベントの
ご案内
- JACE メールマガジン (7/10) 東京消防庁 危険物安全週間実施 について
- What's New(7/16) イベント業務管理士2級資格試験・合格者の発表
- What's New(7/16) 第12回 イベント業務管理士2級・試験受付開始
- JACE メールマガジン (7/16) 東京観光財団M I C E 講座のご案内
- What's New(7/18) 夏季休業のお知らせ
- What's New(7/26) 2019年11月16日(土) 実施の資格試験時の山手線・
京浜東北線の運休計画について

- What's New(7/26) 消費税法改正に伴う消費税率変更のお知らせ
- What's New(7/26) 消費税法改正に伴う消費税率変更とサービス利用停止期間のお知らせ
- JACE ムルマガ (8/26) 事業者向け「消費税特設 Web サイト開設」について
- JACE ムルマガ (9/11) 即位礼正殿の儀(10/22&23)に伴う交通対策について
- What's New(10/21) 「第 6 回 JACE イベントアワード」応募開始の案内
- What's New(11/ 1) イベント業務管理士 1 級資格試験・受付開始の案内～東京・大阪・札幌での開催決定
- What's New(11/ 1) イベント業務管理士 2 級・受験票発送開始の案内
- What's New(11/ 1) イベント業務管理士 2 級資格試験対策セミナー 終了!
- JACE ムルマガ (10/01) 消費税率引上げに係るコールセンターの対応について
- JACE ムルマガ (11/08) 公用文等における日本人のローマ字表記について
- JACE ムルマガ (11/25) 東京 2020 大会中の交通対策について
- What's New(11/26) イベント業務管理士 2 級・合格発表
- What's New(12/02) 年末年始休業のお知らせ
- What's New(12/19) 日本初「イベント産業規模推計」を発表
- JACE ムルマガ (1/27) 新型コロナウイルス関連／中国よりの帰国希望者調査について
- What's New(1/31) イベント業務管理士 1 級 受験票発送の案内
- What's New(1/31) イベント業務管理士 1 級 試験対策セミナー終了!
- What's New(2/03) JACE 新春賀詞交歓会 2020 の開催
- JACE ムルマガ (2/05) 新型コロナウイルスに係る訪日外国人旅行者向コールセンター等について
- JACE ムルマガ (2/05) 2020TDM 推進プロジェクトの参加及び経路探索システムの活用
- JACE ムルマガ (2/18) 国際 MICE エキスポ 2020 開催のご案内
- JACE ムルマガ (2/18) 中国・新型コロナウイルスの一部地域の感染症危険レベルの引上げ
- JACE ムルマガ (2/18) 外務省：中国での感染状況や移動制限情報の掲載
- What's New(2/28) イベント業務管理士 1 級 試験終了のお知らせ
- What's New(2/28) 2020 年度試験概要
- JACE ムルマガ (2/28) 全国すべての学校の休校要請に伴う環境整備配慮について
- JACE ムルマガ (3/09) 東京消防庁・令和 2 年度危険物安全週間に関する周知要請
- What's New(3/16) イベント業務管理士 1 級試験 合格発表
- What's New(3/18) 新型コロナウイルス感染症にかかわる関連情報 経済産業省の支援策と他省庁関連ページほか
- What's New(3/18) 新型コロナウイルス感染症にかかわる関連情報イベント中止・延期情報 (JACE 調べ)

② 資格・検定試験の情報発信

■ イベント業務管理士試験関連（協会 HP による展開）

2020.04.15 JACE コーポレートサイト システムメンテナンスのお知らせ

2020.03.16 「イベント業務管理士 1 級」試験 合格発表

2020.02.28 2020 年度試験概要

2020.02.28 「イベント業務管理士 1 級」試験終了

2019.11.26 第 12 回「イベント業務管理士 2 級」試験 合格発表

2019.11.05 イベント業務管理士 2 級 試験対策セミナー終了！

2019.11.01 「イベント業務管理士 2 級」試験の受験票を発送します

2019.11.01 「イベント業務管理士 1 級」試験申し込み開始

～東京・大阪・札幌での開催決定～

2019.07.16 第 12 回「イベント業務管理士 2 級」試験申し込み開始

～全国 7 会場での開催決定～

2019.07.16 第 11 回「イベント業務管理士 2 級」試験 合格発表

2019.07.01 「イベント業務管理士 2 級」試験の受験票を発送しました

2019.07.01 イベント業務管理士 2 級 試験対策セミナー終了！

2019.03.22 2019 年度試験受付開始

2019.03.22 イベント業務管理士 1 級・2 級のテキスト発刊

■ 資格試験関連（協会 HP による展開）

2020.02.28 2020 年試験スケジュール

2019.11.26 第 10 回 ユニバーサルイベント検定 合格者発表

2019.11.26 第 13 回 スポーツイベント検定 合格者発表

2019.11.26 第 27 回 イベント検定 合格者発表

2019.11.13 11 月 16 日（土）の検定試験会場について

2019.07.16 2019 年 3 つの検定試験 後期受付開始～全国 7 会場での開催決定～

2019.07.16 第 26 回 イベント検定 合格者発表

2019.07.16 第 12 回 スポーツイベント検定 合格者発表

2019.07.16 第 9 回 ユニバーサルイベント検定 合格者発表

2019.07.01 3 つの検定の受験票を発送しました。

2019.07.01 「ユニバーサルイベント検定」試験対策セミナー終了

2019.07.01 「イベント検定」試験対策セミナー終了

2019.07.01 「スポーツイベント検定」試験対策セミナー終了

2019.03.22 2019 年 前期試験 受付開始

③ 「宣伝会議」コラム掲載

月刊「宣伝会議」のイベント情報コラムの連載を継続

- 2019年07月号：スポーツから音楽、世界会議まで
“イベント立国の街”横浜が目指すもの
- 2019年08月号：「第5回JACE イベントアワード」が決定
～ イベントの社会的役割とは ～
- 2019年09月号：2018年1月～12月のイベント消費規模発表
「イベント消費規模は7年連続の伸長」
- 2019年10月号：訪日外客数、2020年目標は4000万人
日本の魅力をアピールして「MICE」誘致を推進
- 2019年11月号：2019年、もうひとつのラグビー世界大会
「車いすラグビーワールドチャレンジ」
- 2019年12月号：五輪から園芸博まで、大規模イベントが目白押し
まだまだ続く日本の「ゴールデン・イヤーズ」
- 2020年01月号：JACEがイベント産業の規模調査を発表
関連産業含め、売上高は約2兆2878億円
- 2020年02月号：「世界一のファンがいた」
ラグビーワールドカップ2019日本大会が閉幕
- 2020年03月号：新国立でオープニングイベントが開催
五輪はじめ、各種イベントで“感動”を生む場所へ
- 2020年04月号：ゴールデン・スポーツイヤーズ
2年目から見る注目ポイント
- 2020年05月号：業界を直撃した新型肺炎
五輪開催の可否は5月下旬にも判断
- 2020年06月号：五輪の延期が決定
再カウントダウンは1年3カ月
- 2020年07月号：新型コロナウイルスがイベント業界に与えた影響（1）
～ 私たちが日常の活動を取り戻す日はいつか？～

2-6 その他活動

2-6-1 新型コロナウイルス感染拡大への対応

- ・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、経済産業省商務情報政策局 商務・サービスグループ クールジャパン政策課から、イベント業界への影響調査の要請があり、一部会員社へヒアリングした結果を3月に報告。4月には協会として独自に緊急アンケート調査を全会員者に対して実施し、クールジャパン政策課へイベント業界の厳しい現況を報

告。

- ・次のステップとしては、当協会会長とイベント学会会長の連名による「新型コロナウイルス対策に向けたイベント産業からの要望書（仮称）」を経済産業省に提出する予定。
- ・さらに、「イベント再開に向けての基本方針・ガイドライン」策定を目的に委員会を立ち上げ、経済産業省と協働しながら早期の基本方針・ガイドライン策定を目指す委員会（部会）を設置する。
- ・協会 WEB サイトのトップページ最上段に「新型コロナウイルス感染症にかかわる関連情報」を新設、下記3つのコンテンツを掲出し、最新情報への更新を継続中。
 - 「新型コロナウイルスによる主要なイベント中止・延期情報」
 - 「JACE 会員各社への緊急アンケート（4月末実施）報告」
 - 「経済産業省の支援策と他省庁関連ページ」
- ・政府が新型コロナウイルスの流行終息後の一定期間に限定して実施する官・民一体型の消費喚起策を検討するにあたって、経済産業省からイベントの定義・種類、およびイベント産業の分類等に関する問い合わせが複数回あり、イベント産業規模推計に携わったチームと検討を重ねて丁寧に対応した。

2-6-2 環境省「夏季イベントにおける熱中症対策等検討委員会」への参画

2018年度より東京2020年オリンピック・パラリンピックの熱中症対策に向けて、JACEは上記委員会に参画している。委員会メンバーは、JACE以外には、東京都医師会理事、救命救急医等である。また、オブザーバーとして、内閣官房、オリ・パラ組織委員会、東京都も出席している。2019年度に委員会は4回開催され「熱中症対策ガイドライン2020」パンフレットを作成した。

東京2020年オリンピック・パラリンピックは延期となったが、熱中症対策は気候変動への適応の観点からも極めて重要であるとし、新たに「熱中症予防対策に資する効果的な情報発信に関する検討会」として継続された。この検討会には従来メンバーに加えて、厚生労働省、国土交通省などの省庁、関東地方の各県庁も追加メンバーとなった。

以上

2019年度 財務諸表

貸借対照表

令和 2年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 ・ 預 金	23,352,350	32,170,303	△8,817,953
未 収 金	5,687,317	2,795,339	2,891,978
前 払 金		130,250	△ 130,250
貯 蔵 品	3,509,374	1,166,070	2,343,304
流 動 資 産 合 計	32,549,041	36,261,962	△ 3,712,921
2 固 定 資 産			
(1) そ の 他 固 定 資 産			
建 物 附 属 設 備	287,554	407,222	△ 119,668
什 器 備 品	40,503	88,440	△ 47,937
電 話 加 入 権	599,872	599,872	
商 標 権	1	1	
ソ フ ト ウ エ ア	308,728	1,231,244	△ 922,516
敷 金	1,811,012	1,811,012	
そ の 他 固 定 資 産 合 計	3,047,670	4,137,791	△ 1,090,121
固 定 資 産 合 計	3,047,670	4,137,791	△ 1,090,121
資 産 合 計	35,596,711	40,399,753	△ 4,803,042
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	536,967	5,843,672	△ 5,306,705
預 り 金	3,524	26,067	△ 22,543
未 払 法 人 税 等	70,000	70,000	
未 払 消 費 税 等	453,500	362,700	90,800
流 動 負 債 合 計	1,063,991	6,302,439	△ 5,238,448
負 債 合 計	1,063,991	6,302,439	△ 5,238,448
III 正 味 財 産 の 部			
1 一 般 正 味 財 産	34,532,720	34,097,314	435,406
正 味 財 産 合 計	34,532,720	34,097,314	435,406
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	35,596,711	40,399,753	△ 4,803,042

正味財産増減計算書

平成 31年 4月 1日から 令和 2年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入金会金	(90,000)	(100,000)	(△10,000)
受取入金会金	90,000	100,000	△ 10,000
② 受取会費	(24,360,000)	(26,190,000)	(1,080,000)
正会員受取会費	21,960,000	22,410,000	△ 450,000
賛助会員受取会費	2,400,000	2,280,000	120,000
受取特別会費	0	1,500,000	△ 1,500,000
③ 事業収益	(40,718,661)	(37,064,869)	(3,653,792)
人材育成事業収益	35,583,032	32,180,588	3,402,444
調査研究事業収益	727,379	675,244	52,135
普及啓発事業収益	4,408,250	4,209,037	199,213
④ 雑収益	(363,905)	(370,644)	(△6,739)
受取利息	268	273	△ 5
雑収益	363,637	370,371	△ 6,734
経常収益計	65,532,566	63,725,513	1,807,053
(2) 経常費用			
① 事業費用			
事業経費	(43,478,621)	(42,445,605)	(1,033,016)
臨時雇賃金	111,992	132,046	△ 20,054
会議費	937,870	2,042,716	△ 1,104,846
旅費交通費	1,398,845	2,339,182	△ 940,337
通信運搬費	994,203	2,074,325	△ 1,080,122
消耗品費	61,637	8,679	52,958
印刷物作成費	3,408,535	3,256,928	151,607
諸謝金	2,066,150	3,950,666	△ 1,884,516
委託費	17,616,405	15,412,918	2,203,487
図書費	16,600	2,167	14,433
広報費	300,000	364,815	△ 64,815
会場費	14,278,579	10,563,114	3,715,465
減価償却費	788,349	788,349	
賞典費	1,430,000	1,430,000	
雑費	69,456	79,700	△ 10,244
事業費計	43,478,621	42,445,605	1,033,016
② 管理費			
給与手当	1,601,500	1,656,400	△ 54,900
法定福利費	482,255	431,163	51,092

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
福 利 厚 生 費	292,248	315,031	△ 22,783
会 議 費	1,305,419	1,400,284	△ 94,865
旅 費 交 通 費	713,664	905,975	△ 192,311
通 信 運 搬 費	1,395,935	1,197,712	198,223
消 耗 品 費	732,146	1,212,285	△ 480,139
印 刷 物 作 成 費	265,600	207,600	58,000
リ ー ス 料	2,343,540	2,303,940	39,600
諸 謝 金	1,357,300	1,216,000	141,300
委 託 費	2,059,925	1,110,231	949,694
会 費	702,000	692,000	10,000
慶 弔 費	65,319	60,959	4,360
函 書 費		1,800	△ 1,800
支 払 手 数 料	138,095	172,293	△ 34,198
租 税 公 課	1,984,955	1,873,111	111,844
減 価 償 却 費	301,771	519,205	△ 217,434
水 道 光 熱 費	650,187	641,524	8,663
賃 借 料	4,840,000	4,800,000	40,000
修 繕 費	81,000	0	81,000
雑 費	235,679	158,687	76,992
管 理 費 計	21,548,538	20,876,200	672,338
経 常 費 用 計	65,027,159	63,321,805	1,705,354
評価損益等調整前当期経常増減額	505,407	403,708	101,699
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	505,407	403,708	101,699
2 経 常 外 増 減 の 部			0
(1) 経 常 外 収 益			0
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			0
① 固 定 資 産 除 却 損	(1)	(0)	(1)
固 定 資 産 売 却 損	1	0	1
経 常 外 費 用 計	1	0	1
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 1	0	△ 1
税引前当期一般正味財産増減額	505,406	403,708	101,698
法人税、住民税 及び 事業税	70,000	70,000	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	435,406	333,708	101,698
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	34,097,314	33,763,606	333,708
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	34,532,720	34,097,314	435,406
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	34,532,720	34,097,314	435,406

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	1,370,000	1,082,446	287,554
什器備品	502,515	462,012	40,503
商標権	209,000	208,999	1
ソフトウェア	5,851,752	5,543,024	308,728
合 計	7,933,267	7,296,481	636,786

はじめに-1: 今年度事業計画の立案にあたって

イベント産業界として、新型コロナウイルスにどのように対応していくのか。

- (1) 新型コロナウイルスが、経済・産業界に未曾有の悪影響を及ぼす。
- (2) イベント産業は、直接的、壊滅的な経済的打撃を受けている。
- (3) With コロナ/After コロナ時代のイベントを再認識・再定義する。

はじめに-2: 新型コロナウイルスへの緊急対応事業(2019年度より継続)

イベント産業界の新型コロナウイルスの影響や課題、問題点を把握する。



イベント産業界から国・経済産業省への提言・要望書の提出

会員社への緊急アンケートをベースに策定、イベント学会と連名（調整中）にて、経済産業省へ要望書を提出。骨子は以下の通り。

- ①官主導の新たなイベント需要の創出
- ②イベント産業の隅々までの多面的な支援
- ③基本方針・ガイドラインづくりへの支援

I. 事業方針

ポスト新型コロナウイルス禍を見据えた事業を目指す。

- (1) イベントおよびイベント産業全体の客観的分析
- (2) イベント価値の再認識、再定義および発信
- (3) 他業態・他業種との連携の促進
- (4) イベント産業の人材の獲得・育成
- (5) イベントのコンプライアンスの確保

II. 協会の現状

当協会は、イベントビジネスに携わる様々な業種の企業を正会員としている。あわせてイベントの各ステージにかかわるイベント・プロフェッショナル人材の育成では、イベント業務管理士資格制度を持って取り組んでおり、受験者は増加傾向にある。協会として創立 30 周年を通過点として、さらなる健全経営を念頭に置き、会費等収入、資格事業をコアとしながら、新型コロナウイルス終息後の新たな時代におけるイベント産業のV字回復を目指す。そのために、イベントの再認識、再定義をはかる活動を実践していく。

Ⅲ. 会員事業及び協会運営

従来の元請けからはじまるビジネス商流に加え、イベントを新たな事業フィールドとして捉える「業界を取り巻くポジティブな環境」が続くはずであったが、新型コロナウイルス終息後を見据えて新たな会員の獲得を目指す。この数年、新たな会員は新たな資格取得による資格者増に結びつく傾向が高いため、正会員と賛助会員の入会促進は最重要である。

また、今年度はイベント業界全体で新型コロナウイルスへ対峙していくため、会員への情報提供と情報共有を推進、国への提言や要望の発信力を強化する。それと並行して、会員とともに「イベント再開に向けた基本方針・ガイドライン」を策定し、イベント業界におけるプレゼンスを高めていく。以上を推進した結果としての加入増、退会減を目指す。

3-1 会員事業

正会員 63 法人、賛助会員 20 法人の現在 83 法人を、中期計画目標 90 法人へ増やす。そのためには、後述の調査研究事業、セミナー等を中心とした普及啓発事業を積極的に展開する。また従来からのイベント関連団体のみならず、広告関連団体など諸団体との連携を進めることで協会の認知を拡大し、会員獲得のプロスペクトを増やしていく。

また、大学、専門学校における学生獲得競争が進む中で、イベント 3 検定の資格取得を推進していくメリットをアピールすることで賛助会員を増やす。

3-2 協会運営

昨年度に引き続き、正会員の参画による委員会と部会の活動を積極的に展開する。活動テーマは以下の通り。

- ▶ 総務委員会：協会運営の統括と理事会議案の確認・調整
 - ・イベント産業再生部会（委員会）：「イベント再開に向けた基本方針・ガイドライン」を作成、With コロナ/After コロナに対応したイベントの将来像を検討
 - ・オリパラ部会：オリパラの情報共有と組織委員会プロジェクトへの参画、スポーツ領域のネットワーク構築
 - ・2025 年日本国際博覧会部会（委員会）：5 年後の大阪・関西万博に対する JACE と会員の係わり方をビジネス視点で模索
- ▶ 広報委員会：協会の広報全般（市場規模、コミュニケーション、表彰）の統括
 - ・市場調査部会（消費/産業）…イベント消費規模推計とイベント産業規模推計の継続と発表
 - ・セミナー部会：情報発信による会員社&資格者へのコミュニケーション強化
 - ・アワード部会：イベントアワードの普遍化による協会プレゼンスアップ
- ▶ 人材育成委員会：資格検定事業（テキスト、セミナー、試験）の推進/人材ネットワークの構築
- ▶ 安全委員会：イベントにおける安全の定義の構築/「安全ノート」後のアクションを想定した企画立案とツール開発

3-3 事務局運営

今年度も正会員企業からの出向者を中心にした運営体制を継続する。創立 30 周年を通過点として、次の 10 年に向けた協会のプレゼンス強化と情報セキュリティ強化を目標に協会

ホームページほかの対外的な発信力の整備と見直しを実施する。また、セミナー、アワード等の普及啓発活動を通じ、会員・関係者・見込客の名簿リストの精緻化を進める。

IV. 人材育成事業

イベント業務管理士1級・2級、イベント・スポーツイベント・ユニバーサルイベントの3検定ともに受験者は着実に伸びつつあるが、With コロナ/After コロナに対応したイベントの将来像に向って想定される変化を踏まえた対応を行う。

資格取得者増加に向けたセミナー、講習会の実施にあたっては、地域格差や受験者の利便性を考慮したオンラインでの実施検討を開始する。また、資格検定試験に関してもオンライン実施に向けた情報収集を行う。更に、資格保持者に対しても資格更新率を向上させるために、資格者向けオンラインセミナーの実施を検討する。

これら人材事業の新たな動きに関しては、協会ホームページの活用等でタイムリーな情報提供の仕組みを作り、資格取得者増を目的とし収益基盤強化を目指す。

4-1 資格事業 イベント業務管理士1級・2級

- ▶ イベント業務管理士2級試験を年2回（7月、11月）実施する。特に11月の2回目試験は、東京、大阪の2会場に、札幌・仙台・新潟・名古屋・福岡の5会場を加えて計7会場で実施し、イベント業務管理士1級の受験資格者増加を図る。
- ▶ 2020年2月実施のイベント業務管理士1級試験は、東京、大阪、札幌の3会場で実施する。

4-2 検定事業

- ▶ 受験機会の充実を図るため、東京、大阪（7月11月年2回）、札幌・仙台・新潟・名古屋・福岡（11月年1回）を加え、全国7ヵ所で試験を実施する。
- ▶ 3つの検定とイベント業務管理士2級の試験を同日に行うことで、地方の受験者が一度に資格及び検定の2試験を受験できる場を提供する。
- ▶ イベント検定は、オープン受験に加え認定校の授業スケジュールに合わせた学校内受験を継続することで受験者増を目指す。
- ▶ スポーツイベント検定は賛助校の現場担当者訪問を行う等でスポーツイベントに対する新たなニーズを収集し今後の発展方向性を検討していく。
- ▶ ユニバーサルイベント検定は、ターゲットをイベント業務管理士資格保有者だけでなく広くイベント産業従事者とし新たなイベント発展の流れに組み込む。
- ▶ 協会ホームページの活用等でタイムリーな情報提供の仕組みを作る。

4-3 教育事業

- ▶ 賛助校セミナーや各社団体からの講師派遣に関しては、従来通り積極的に携わっていく。
- ▶ 試験対策セミナー講師、賛助校派遣講師に関しては、日本イベント業務管理士協会（JEDIS）と今期も連携し充実を図る。

V. 調査研究事業

2016年秋～2018年春に実施した「イベント未来創造プロジェクト」の検討成果を踏まえ、従来からの「イベント消費規模推計」に加えて「イベント産業規模推計」を開始する。

5-1 イベント消費規模推計

2012年度に再スタートさせたイベント消費規模推計報告書は、生活者のイベント消費金額に加えて、近年の様々なイベント参加への拡がりが見いだせるようになっている。今期はイベントを取り巻く環境変化を見据えて改めて実施内容の検討を行う。

5-2 イベント産業規模推計

2019年12月に初めて、イベントを主業としている7業種の産業規模5,610億円に加えて、イベントを売り上げの一部とするイベント関連産業と、音楽・スポーツ等の興業を含む広義のイベントを加えた「イベント周辺産業規模 2018年版」22,878億円をリリース、2019年版は本年夏に発表予定。

また、イベント産業市場規模算定の基礎となる「2019年日本の広告費」(2020年3月発表)では、改定項目「イベント・展示・映像ほか」5,677億円を初めて発表、調査対象は広告業に限定されるが、前年比158.4%の大きな伸びが注目された。

5-3 その他 調査研究

今年10月から開催の「2020年ドバイ国際博覧会」が、新型コロナウイルス感染拡大によって約1年間の会期後ろ倒しが決定したため、12月に予定していたJACE企画の視察ツアーは中止、来年実施に向けて再検討となった。

VI 普及啓発事業

6-1 JACE イベントアワード

5年目を終えて新たなステージへ昇華させるべく、応募作品の選考方法など各プロセスの見直しを行った結果、第6回の本アワードは従来に比べてより質の高い作品を選定することができた。ただし、今回の選考会はWEB会議形式で実施、表彰式は中止として広報発表に留めるなど新型コロナウイルス対応の変則的なものとなった。今後、コロナ禍の状況が改善されれば、秋頃に受賞作品の紹介セミナーを全国主要都市で開催し、発信力を高めていく。

6-2 会員企業&イベント業務管理士を対象としたセミナー、説明会

- ▶ セミナー部会でセミナー企画を立案するとともに仕組み作りを確立する。
- ▶ テーマの方向性としては以下を想定する。

- ・イベントと社会課題 例：SDGs、LGBT、パラスポーツ
- ・イベントの新領域 例：スポーツ、MICE、eスポーツ
- ・イベントと経営 例：安心・安全、イベント・マネジメント

ほかに、5年後を踏まえ、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)関連のセミナーを開催する。

6-3 交流

- ▶ 協会のプレゼンス向上や資格受験者層の領域拡大および会員増強に資するよう、経済産業省、文化庁、JETRO、JNTO、学識経験者、イベント関連団体等との連携を一層強化するとともに、広告関連団体や各種団体との交流を拡大促進する。
- ▶ 会員社と資格者のリテンションに際しては、セミナーや説明会開催等の各種案内、

GSYs、大阪・関西万博関連情報を常に発信し続ける。

- 「パシフィコ横浜」、「みやぎ産業交流センター」との研修会を拡大展開し、資格事業の底上げを図る。
- 環境省の「熱中症予防対策に資する効果的な情報発信に関する検討会」に参画することにより、会員各社へフィードバックを推進する。
- 千葉県商工労働部 M I C E 誘致推進室との関係維持により、幕張メッセの指定管理者の第三者評価を継続実施する。

6-4 広報

- 協会ホームページや電子メール、プレスリリースによる適宜の情報発信を維持しつつ、広報委員会による企画の施行と効果検証を行う。
- 月刊「宣伝会議」のイベント・コラム（専務理事、理事等の執筆）は、本年度も継続掲載する。
- 「ITU 世界トライアスロンシリーズ横浜大会」や「ASTC アジアトライアスロン選手権」で継続する後援名義とボランティアのフレームを他のスポーツイベントへ拡大展開する。

以上

2020年度 収支予算(案)

2020.05.19

単位(円)

□事業収支	事業収入	事業費用	収支差額
1. 人材育成事業	29,800,000	20,700,000	9,100,000
① イベント業務管理士1級	11,800,000	3,300,000	8,500,000
② イベント業務管理士2級	8,900,000	6,100,000	2,800,000
③ イベント検定	5,550,000	3,400,000	2,150,000
④ スポーツイベント検定	2,850,000	2,000,000	850,000
⑤ ユニバーサルイベント検定	700,000	1,500,000	-800,000
⑥ テキスト改訂	0	2,000,000	-2,000,000
⑦ 事業共通費(講師育成・普及ツール等)	0	2,400,000	-2,400,000
2. 調査研究事業	700,000	7,600,000	-6,900,000
① イベント消費規模推計調査	700,000	4,600,000	-3,900,000
② イベント産業規模推計調査	0	1,000,000	-1,000,000
③ 新型コロナウイルスへの緊急対応調査	0	2,000,000	-2,000,000
3. 普及啓発事業	4,300,000	9,950,000	-5,650,000
① 顕彰(アワード第6回表彰、第7回募集費用含)	1,500,000	5,000,000	-3,500,000
② セミナー	1,000,000	900,000	100,000
③ 交流(賀詞交歓会、広告界年賀会等)	1,650,000	1,650,000	0
④ 広報(ホームページ改修整備対策費含む)	150,000	2,400,000	-2,250,000
4. 委員会運営	0	1,300,000	-1,300,000
① 委員会・部会運営	0	1,300,000	-1,300,000
□事業収支 計	34,800,000	39,550,000	-4,750,000

	会費等収入	管理費支出	収支差額
■会費・管理費	25,480,000	22,160,000	3,320,000
新)入会金	0		
新)正会員会費	0		
既)正会員会費	22,680,000		
既)賛助会員会費	2,400,000		
雑収入	400,000		
給料手当		2,000,000	
法定福利費		500,000	
福利厚生費		300,000	
会議費		500,000	
旅費交通費		550,000	
通信運搬費		1,400,000	
消耗品費		750,000	
印刷作成費		300,000	
委託費		2,500,000	
リース料		2,300,000	
諸謝金		1,300,000	
会費		700,000	
慶弔費		50,000	
支払手数料		150,000	
租税公課		1,800,000	
減価償却費		300,000	
水道光熱費		650,000	
賃借料		5,810,000	
修繕費		100,000	
雑費		200,000	
■□経常収支合計	60,280,000	61,710,000	-1,430,000